

整理番号 4053049

発送番号 437718
発送日 平成15年 1月 7日 1 / 2

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-019953
起案日	平成14年12月24日
特許庁審査官	渡辺 努 8948 5V00
特許出願人代理人	渡部 敏彦 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1～21
- ・引用文献等 1～3
- ・備考

引用文献1には、光量の変化に伴い、画像読込位置でシェーディング補正を行うか、正式な箇所でのシェーディング補正を行うかを決定する構成が記載されている。

本願と引用文献1を対比すると、本願が、時間計測の結果でどちらでシェーディング補正を行うかを決定するのに対し、引用文献1では、その都度光量を測定している点で相違するものの、本願においても、予め光量の減少を測定し、その値を利用して時間計測を行っているものであるから、その程度の差異は容易に想到し得る程度のものである。(なお、キセノンランプの点灯時間に応じて光量が変化するので、何らかの制御を行うことは、例えば、引用文献2等に見られるように周知のものである。)

原稿画像を画像読込位置へ搬送する構成については、周知のものである。(例えば、引用文献3等を参照。)

また、シェーディング補正を行う際には、より正確な調整を行うものであるから、光量ピーク位置があれば、そこで行うことが当然である。

発送番号 437718
発送日 平成15年 1月 7日 2 / 2

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平11-196266号公報
2. 特開平11-239244号公報
3. 特開平08-009116号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 H04N1/04-1/207
- DB名
- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。